



農委だより 常総

平成31年1月1日発行
第 26 号

〒303-8501

茨城県常総市水海道諏訪町3222番地3

電話0297-23-2111 (代表)

発行／常総市農業委員会

編集／農委だより常総編集委員会



農業との融合による産業団地の形成が進む
常総インターチェンジ上空から筑波山を望む



農業委員会 会長
倉金 一 廣

新年明けましておめでとう
ございます。皆様におかれま
しては輝かしい新春をお迎え
のこととお慶び申し上げます。
昨年は、台風や記録的猛暑
により、農家の皆さまにおか
れまして大変な一年であつ
たと思います。また、天皇陛
下の退位日が決定され、今年
五月から新しい元号へと変わ
ることになりました。農委だ
より常総も今回の第26号が平
成最後の農委だより常総とな
ります。

常総市農業委員会では昨年
から、農地利用の集積・集約
化に向けて、常総市内農地を
対象に農地利用実態調査を行
っております。委員一同、今
年も農地利用の最適化に向け
て全力で取り組む所存ですの
で、今後とも当農業委員会業
務にご支援、ご協力を賜りま
すようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健康と
ご多幸をご祈念申し上げます
て、新年のご挨拶とさせてい
たいただきます。

本年もよろしく願っています。

上段 農業委員(議席順)
下段 農地利用最適化推進委員(担当地区)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 増田 亮 | 欠 | 員(水海道地区) |
| 下村 利治 | 大島 定男 | (大生地区) |
| 田村 匡史 | 慶野 正一 | (五箇地区) |
| 倉持 孝男 | 小林 仁一 | (三妻地区) |
| 鈴木 将之 | 古谷 保 | (豊岡地区) |
| 石塚 寛一 | 関口 利一 | (菅原地区) |
| 塚田 忠男 | 渡辺 宏行 | (大花羽地区) |
| 中島 清 | 菊田 政光 | (坂手地区) |
| 和田 勇 | 中荻 芳幸 | (内守谷地区) |
| 稲葉 元一 | 鈴木 幹夫 | (菅生地区) |
| 古谷 克美 | 糸賀 達 | (大塚戸地区) |
| 染谷 幸子 | 吉田 博 | (石下地区) |
| 坂入 伸子 | 倉持 信雄 | (豊田地区) |
| 岡野 孝一 | 倉田 光雄 | (玉地区) |
| 内海 浩之 | 石嶋 照夫 | (岡田地区) |
| 菊地 義男 | 稲葉 知信 | (飯沼一地区) |
| 門井 貢 | 町田 定夫 | (飯沼二地区) |
| 山野井喜仁 | | |
| 倉金 一廣 | | |

飯沼一地区(鴻野山・鴻野山新田・古間木新田・古間木沼新田・古間木・馬場新田・大沢・大沢新田)
飯沼二地区(馬場・栗山新田・左平太新田・孫兵工新田・崎房)

水海道地区の推進委員は
再募集を行います。

地域の担い手

大生地区 結束隆司さん



我が家は妻と息子夫婦と母の親子三代で農業経営をし、農繁期には親族や友人にも手を借りています。

以前は水稲を中心に小麦、苺の栽培をしていましたが、三年前に息子が就農してからは、息子の意見を取り入れ研修先で学んだ苺の有機栽培や新品種「いばらキッス」の栽培、また、かぼちゃの栽培も始めました。

苺の「とちおとめ」「いばらキッス」は、庭先でも販売しています。

すが以前よりも高評価をいただくことができました。

現在は水稲の有機栽培に力を入れるため、水田の土作りや肥料の設計などを行っています。

今後は、水稲の有機栽培とともに、GAPの取得や最先端技術を取り入れた園芸施設での作物栽培なども視野に入れ、農業経営に取り組んでいこうと考えています。

すべての作物において消費者のニーズに応えられる、安全で安心して買っていただける食品を目指して、家族ともども全力で農業経営に取り組んでいきたいと思えます。

紹介推進委員

小林 仁一 委員



結束さんは專業農家で、家族全員で行っています。米

と苺を栽培しています。お米は大変美味しいと評判です。

これからも美味しいお米や苺を作ろうと努力しています。

消費者として思うこと

豊田地区 飯塚美也子さん



我が家では、お米と少しばかりの野菜類を栽培しています。我が家で採れないものは、近くの農産物直売所などで購入しています。

また、数年前、自宅に小さな工房を設け、小規模ながら農産物の地産地消にも取り組んでいます。私たちの暮らしている身近な地域で採れた農産物を食べることが、体にとって一番良い事だと思っています。

現代の生活では、食べ物はいつでもどこでも手に入るようになりましたが、食の安全性に対して、

高い意識を持つことも大切だと思います。私は、新鮮で安心できる旬の食材を味わえるように心掛けています。

日本には古来、四季折々の伝統行事に伴った料理があり、旬の食材を取り入れるなど、季節を大切にしながら体をいたわってきました。あらためて昔の人の知恵を、次の世代にも伝えていかなければと思います。

農業従事者の高齢化や担い手不足等、深刻な問題となっていますが、体を作るのも生きるために必要なもの食です。未来を担う子供達こそ、安全で安心できる食材が、安定的に供給されていく事を願っています。

紹介農業委員

下村 利治 委員



飯塚さんは品質や鮮度にこだわりの加工した商品などを農産物直売所に納品しています。

どれも美味しいと好評です。

農家訪問

菅原地区 大木翔太さん



養豚業を営んでいる大木さんを訪問し、日頃心掛けていること等を伺うことができました。

大木さんは高校を卒業後父親のもとで実践を重ね、四年前にこの仕事を引き継いだとのこと。年齢も三十二歳と若い経営者です。

現在は、三元豚、L・W種を主に研修生を含む三人で肥育しています。豚のエサは機械により、朝と昼の二回与えています。

肥育で最も大切なことは、日頃から一頭一頭良く観察し、異常がないか等

受賞おめでとうございます。



常総ふるさとまつりかかしコンテストで農業委員会会長賞に選ばれた水海道第三保育所もも組の作品

を紹介します。



古谷克美委員

訪問農業委員

「消費者に美味しい肉を」をモットーに養豚業に取り組んでいる大木翔太さん

の発見に努めることだそうです。また、「美味くて(うまくて)安全な肉」にするには出来るだけストレスを与えないように愛情をもって接すること、さらには良質な飼料を食べさせること。(飼料の交渉においては苦労しています...) 一言一句からも情熱をもって取り組んでいる様子が伝わって来ました。

平成29年 主要業務実績

農地移動の実態

(1月~12月)

条 項 別	件数	面積(m ²)	
3 条	所有権移転	107	259,019
	賃 貸 借	3	10,872
	使用貸借	5	14,085
	届 出	117	849,311
4 条	許 可	25	11,990
	届 出	4	2,031
5 条	許 可	171	158,639
	届 出	20	5,556
4・5条制限除外	17	122,786	
大臣許可	—	—	
18条解約	178	381,802	
証 明	非農地証明	7	5,627
	転用事実証明	2	1,268
	現況証明	6	3,032
農業経営基盤強化	694	2,457,408	

平成29年 農用地利用集積事業

(1月~12月)

地 区 別	面積(m ²)	地 区 別	面積(m ²)
水海道	7,133	内守谷	70,032
豊岡	190,345	菅生	92,745
菅原	214,331	大塚戸	4,325
大花羽	289,957	石下	137,491
三妻	199,796	豊田	76,775
五箇	302,281	玉	109,629
大生	234,149	岡田	141,667
坂手	30,796	飯沼	355,956
計		2,457,408	

田畑別面積

田 1,747,019 m²
 畑 710,389 m²
 計 2,457,408 m²

農地利用実態調査を実施中です

常総市農業委員会では昨年より、農地所有者を対象に農地利用実態調査を行っています。

この調査は、農地の耕作者を明らかにし、農地の貸付意向を広範に把握することを目的としています。農地利用の集積・集約化を着実に推進するためには、農地の出し手・受け手それぞれの情報を広く収集することが重要となります。現在、市内各地区の農地利用最適化推進委員会が中心となり、農業委員・推進委員が戸別訪問による聞き取り調査を行っています。

農業委員や農地利用最適化推進委員会が調査に訪れた際には、ご協力をお願いいたします。

なお今後は、郵送による調査も行う予定です。詳細については、「広報常総」「お知らせ版」などでお知らせいたします。

皆さまのご協力をお願いいたします。



いきいき茨城ゆめ国体2019 常総市農業委員会事務局までご相談ください。



農地パトロールを行いました

農業委員会では農地法第30条に基づき、毎年、市内すべての農地を対象に利用状況調査を実施しています。

調査の結果、遊休農地であると判断した場合、所有者に対して、「利用意向調査」を実施し、今後の農地利用についての意向を確認します。

高齢のため、耕作することが困難な方、後継者がなく農地の維持管理に不安な方は、農業委員・農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局までご相談ください。

農業委員会による耕作放棄地解消の取組み



豊岡小学校2年生の給食の様子 青パパイヤと豚肉のスープ



石下小学校2年生の給食の様子 青パパイヤの中華スープ

農業委員会による耕作放棄地解消の取組みとして、大生郷町宮原前地内で栽培した青パパイヤを学校給食センターへ提供しました。写真は青パパイヤを使用した給食の様子です。

営農と暮らしに役立つ

全国農業新聞

発行日 毎週金曜日
購読料 一ヶ月七百円
発行所 全国農業会議所
申込み 農業委員会事務局まで
Tel 0297-23-9013

編集後記

農委だより常総第26号をお届けします。表紙は常総インターチェンジ上空からの写真です。今後とも地域に密着した内容をお届けします。

豊かで安心な老後生活のため

農業者年金に加入しませんか?

- ① 国民年金第1号被保険者
② 年間60日以上農業に従事
③ 20歳以上60歳未満

この3つの要件を満たす方ならどなたでもご加入いただけます!

～ 農業者年金にはメリットがたくさん! ～

- ・新制度になり、少子高齢化に強い積み立て方式で安心!
・保険料は2万~6.7万円まで選べていつでも変更可能!
・終身年金で80歳前に亡くなられても、遺族への死亡一時金あり!
・保険料の社会保険料控除で大きな節税効果!
・一定の要件を満たす若年層の農業者には最高1万円の保険料の国庫補助あり!

くわしくは、最寄りの農業委員、推進委員または農業委員会事務局までご連絡ください。
農業委員会事務局直番 ☎0297-23-9013

